

閉塞性動脈硬化症 Q&A

～閉塞性動脈硬化症対策～その①

今回は、閉塞性動脈硬化を Q&A で解説致します！！
閉鎖性動脈硬化とは、動脈硬化が原因で、手足（主に足）の血流障害を来すものです。全2回シリーズで行います。是非、参考にしていただければと思います。



川崎幸病院 血管外科医長

光岡明人 (Mitsuoka Akito)

Q1: 「足の血流障害」とはどういう病気ですか？

A1: 「足の血流障害」というのは、いろいろな原因で足の血管（動脈）が狭くなったり、ふさがってしまい血行が悪くなってしまふ障害です。そのため足の筋肉などの組織に、酸素や栄養が行きにくくなってしまい、運動をすると足が痛くなったり、ひどい場合には足が腐ってしまうこととなります。

これらの血行障害は動脈の病気ですが、ちなみに、足の静脈（血液がかえってくる方の血管ですが）の血行がとどこおった場合に起きるのが静脈血栓症や、静脈瘤といえます。長時間飛行機に乗った後に起こる「エコノミー症候群」として最近有名なのは、足の静脈に出来た血の固まりが肺などに飛んで、血管をつまらせてしまうものです。「肺血栓塞栓症」ともいいます。

Q2: この「足の血流障害」を起こす原因には・・・

A2: ①血管の動脈硬化によるもの（閉塞性動脈硬化症：ASO または PAD）②血管の炎症によるもの（原因不明の難病の「バージャー病（閉塞性血栓血管炎）」や、「大動脈炎症症候群・別名：脈なし病」など）③膠原病によるもの④不整脈などで心臓に出来た血の固まり（血栓）が、足の動脈につまってしまうもの



※ 画像：足の血流障害

Q3: 「足の血流障害」の中で、一番多いのはどの病気ですか？

A3: 「足の血流障害」を起こす原因の中で、圧倒的に多いのが足の血管の”動脈硬化”によって起きるもので、閉塞性動脈硬化症といえます。動脈硬化症というのは、動脈の血管の壁にコレステロールなどが付着して、血液の流れをふさいでしまう病気です。例えば、心臓の血管に動脈硬化が起こり狭くなって、血行が悪くなるのが「狭心症」、更に、その血管が詰まってしまうのが「心筋梗塞」です。同じように、脳の血管が詰まってしまうのが「脳梗塞」ですが、閉塞性動脈硬化症はこれと同じメカニズムで、足の血管が狭くなったり詰まるために起きるもので、いわば「足梗塞」と呼んでもいい病気です。



足もと注意

※次回は、閉塞性動脈硬化症の治療についてです。乞うご期待！！

お問い合わせ先

社会医療法人財団 石心会
川崎幸クリニック

川崎市幸区南幸町 1-27-1
TEL 044-511-2112 (外来予約)

社会医療法人財団 石心会
川崎クリニック

川崎市川崎区日進町 7-1

TEL 044-222-9259 (外来予約)